



田 淵 厚

公共施設について

田淵 公共施設等総合管理計画に基づき劣化診断を実施されたが、その結果に基づき優先度など判断されたのか。

答弁 現地調査を行い健全度の点数化を終了し、構造躯体の健全性、長寿命判定などハード面の評価、利用状況、コストなどソフト面の評価、これを1次評価とし、公共性、効率性、有効性、代替性、特異性などの2次評価を行い、政策判断を加味し総合的な評価を行い、これを施設類型ごとに実施し、全類型での優先順位づけを今後行います。



長寿命化、機能維持を基本方針としています。

田淵 人口減少と少子高齢化の中、利用者数、財源、維持管理費はどうなるのかの方向性を示さないと、次の世代への負担になります。これからの施設について市民と話し合いながら、市民サービスの利便性を図る必要があると考えます。



古 賀 公 彦

スポーツ振興について

古賀 少子化での競技種目ジュニア育成について。

答弁 ジュニアの育成には指導者の存在が不可欠で、また少子化による部活動の部員の減少は希望するスポーツができないことが要因となっており、競技可能なスポーツを増やす為には総合型地域スポーツクラブと学校の連携が重要です。



古賀 競技力の向上について。
答弁 多久市体育協会に所属している各種目団体においてそれぞれ取り組まれており、多久市ではスポーツ団体の育成と競技力向上支援に取り組んでいます。

学校教育の現状と課題について

古賀 コロナ禍の状況下で家庭学習時間の低下はないのか、また教育指導はどのようにしているのか。

答弁 6年生と9年生の平日の家庭学習時間は、全国平均と比べて低く明らかな差があります。保護者へは家庭学習の指標として、学年に応じた家庭学習時間と家庭学習の取組例を提示しています。

古賀 いじめ問題に対して、どのような体制を整えているのか。

答弁 いじめが発生した場合、学校だけではなく警察や関係機関と連携して対応できるよう体制を整えています。



田 中 英 行

鳥獣対策の取り組みについて

田中 多久市でもイノシシ減容化施設の建設はできないか。

答弁 多久小地域におきましては、捕獲駆除従事者の高齢化が進み埋却処分への労力負担が増しています。

埋却場所の選定、あるいは捕獲後の埋却の作業などの処理に大変苦勞されていることもあり、同協議会におきまして、捕獲後の処理について、減容化施設を含め協議を行っているところですが、施設整備以外にも捕獲後の処理を業者へ委託して処理する方法もありますので、他市町や他県の処理方法も参考にしながら、問題解決に向け努力していきたいと思っております。



種苗法改正について

田中 今後の取組については。

答弁 一般品種である伝統野菜につきまして、今後種苗法が改正されても、自家増殖を含め利用制限はされないようになっています。

伝統野菜が持続的に地域で受け継がれ、発展していくような施策の手段として、国のほうでも推進されている知的財産としての保護制度である地理的表示保護制度と地域団体商標制度の2つの保護制度を活用した取組の支援を行っています。



飯 守 康 洋

多久市の「財政」に関して

飯守 以前から計画していた建物についての財政的な計画はどう考えているか。

答弁 中期財政計画はかなり綿密に詰めており、現在の中長期計画の中には、広域クリーンセンター関連、スポーツレクリエーション施設、図書館の建設に関わる費用や北多久公民館に関する費用も見通しとして入れています。

財源については、過疎債を中心とした様々な財源を活用することとしています。

新型コロナウイルス対策については、国からの交付金、ふるさと納税による基金に基づいて、第1次の22にわたる政策を実施したところです。

財政全般については、実質公債費比率をはじめ、実質赤字比率、連結実質赤字比率、将来負担比率の4指標が極めて重要で、しっかりとみていきたいと思っております。

また、経常収支比率については、概にこれで全ての財政状況がわかるということだけでなく、弾力性を見る指数ですので、それでいきなり破綻するとかいうことではありませんが、しっかりと財政が運営できるよう全力を尽くします。

